

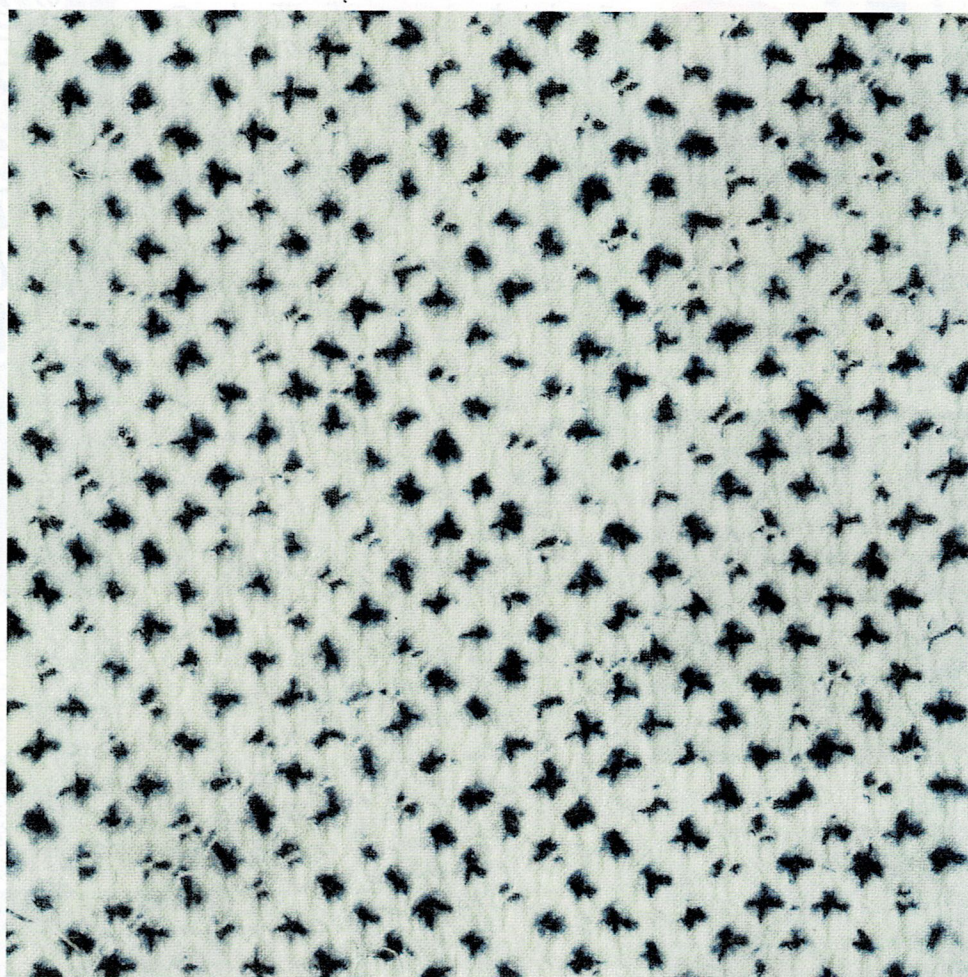


JAPAN HERITAGE

日本遺産

有 松

NO.92 有松まちづくりの会



◇芯入れ三浦絞り

この技法は三浦絞りと竜巻き絞りの2つの技法を組み合わせたもので、三浦絞りの粒の上部分以外が防染される少し趣きの異なった三浦絞りです。

解説：竹田 昌弘

有松がより有松らしく

生まれ変わるために

有松まちづくりの会 副会長 久野 剛資(絞りエンジニア)

有松は、1608年の誕生から多くの誇るべき遺産を引き継ぎ、日本にしかない技を温存しながらも時代の変化に素早く対応して、現在、日本遺産と認定されるに至りました。

「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地

く藍染が風にゆれる町有松く」

私は、絞り染色に携わる4代目として、江戸時代の情緒ある町並みの景観と共に絞り産業を維持したい、と強く願っています。藍染めは、日本独自の薬



(すくも)を原料にしています。薬とは、草か んむりに染め、の字の成り立ちそのままに、 藍の葉を発酵させて作る染料のことで、 薬と絞りは相性抜群。綿花の産地と有松が 一体化して生産した商品は、夏物のファッ ションとしてはお墨付きのアイテムとなり ました。現在では、品質を高めるために、 より堅牢な化学染色に移り、本藍染におけ る商品は一部にとどまっています。



立体のれん



景観に配慮した外壁になるイオンタウン有松(予想図)

絞りのイメージは、江戸時代における 藍染の印象が強いです。しかし、先人たち から追い求められてきた絞りの美を大切に しつつ、絞りを新たな領域に押し上げる 工夫をしなければ絞りの未来はなく、絞りは 博物館にしかない”博物館どまり”になり かねません。

情緒に触れるのはいいけれど、産業を 発展させなければ絞りは生き続けられない のである、ということをご皆さんに認識して ほしいと願っています。

― 以前のように栄えた絞りの世界を夢見る 孤独な産業人(絞り産業を守る会)より ―

有松地区の更なる

魅力向上に向けて

名古屋市長観光文化交流局歴史まちづくり推進課長 山本 功一

日頃は、名古屋市の歴史まちづくり施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本稿では、有松地区の魅力向上に向けた令和7年度の取り組みを中心にご紹介します。

有松地区古民家利活用事業について

歴史的な町並みが残る有松では、様々な理由から伝統的建造物(古民家)の維持が困難となっています。

こうした課題の解決に向けて、市は官民連携で伝統的建造物の利活用を図りながら面的にまちづくりを進めていくため、地域の皆様との意見交換を踏まえ「有松地区における古民家を活かしたまちづくりの考え方」をまとめ、その実現を目指して、令和5年度から古民家利活用事業に着手したところです。

そうした中、中濱 豊さん、株式会社つぎと、名古屋鉄道株式会社の3者により、事業の実施主体となるまちづくり会社「有松未来創造株式会社」が本年2月14日に設立されました。

市は、今後有松未来創造株式会社と連携し

て古民家利活用事業を推進し、有松の魅力が更に向上するよう努めてまいりますので、皆様には引き続き、ご理解とご協力をお願い致します。

岡家住宅の公開活用に向けて

令和3年度に市が取得した岡家住宅については、現在、日本遺産ガイドンス施設としての公開活用に向けて、耐震補強方法や具体的な活用方法の検討を進めています。昨年9月から今年3月にかけて、3回にわたり地域の皆様にご参加いただき、活用に向けたワークショップ(勉強会)を開催し、整備後の活用イメージなどについて意見交換を行いました。

その中で、岡家住宅の役割については、「文化観光」の推進拠点として、絞会館や山車会館とも連携して有松の文化資源(絞り・町並み・山車)の魅力を発信し、展示や体験等を通じて、国内外から幅広い来訪者を呼び込むことが望まれるのではないかと、議論を行っているところです。

令和7年度は、具体的な検討や設計をさらに進め、修理整備設計案や管理運営方針をとりま

とめた基本計画を策定する予定です。その後、実施設計や工事を経て、建物全体の公開活用につなげてまいります。

防災対策の推進について

有松地区においては、地震や火災などの被害の抑制を目指し、令和3年度に伝建地区の防災計画を策定しましたが、その後、具体的な防災対策の実施には至っていない状況です。こうした中、令和6年1月に発生した能登半島地震では、古い木造建物が数多く倒壊するなどの大きな被害が生じました。また、輪島市の朝市通り周辺の市街地では、大きな火災も生じました。

有松地区は古い木造建物が多く、南海トラフ地震による被害も想定されることから、能登半島地震を契機に、防災計画に基づいた具体的な取り組みを地区全体で早期に実施していくことが望まれます。令和7年度には、耐震対策や火災安全対策の具体化に向けた調査を実施してまいります。その後、個々の伝統的建造物の耐震化や地区の防火対策の事業化につなげていく予定です。



有松未来創造(株)の皆さんで広沢市長を訪問

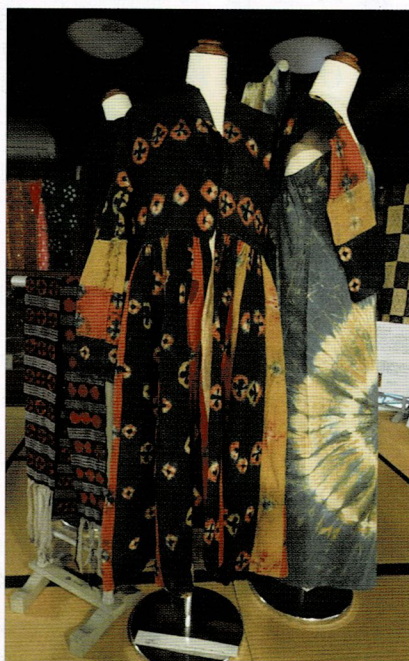
会の活動への想い～



絞りに関する書籍



竹田耕三コレクションより絞り浴衣



世界の絞り(アフリカより)



さまざまな絞り技術の紹介



アンケート結果は次のとおりです

500名の来場者の内訳は、有松近郊約27%、その他の緑区約10%、緑区を除く名古屋市内約23%、愛知県内17%、愛知県外18%と各地からの参加者が多いのは予想以上であった。また98%の方が大変満足した又は満足したと非常に高く評価していただいた。希望する展示内容は絞りに関する技法、有松の町並みの変遷などが多かった。

この活動が有松に伝統産業の絞りや文化に関する資料館が完成し、多くの方が貴重な歴史を学ぶことができるようになる契機になればと願っています。

(根尾文彦)



～有松史料調査保存

「有松史料調査保存会」は有松が令和元(2019)年5月に日本遺産に認定されたのを機に、同年の10月に発足しました。当初は「日本遺産事業調査研究会」と称して、有松の住民で有松まちづくりの会の4名(加藤一成、山田修生、山本文雄、北川洋三)と桜花学園より根尾文彦、辻のぞみの計6名でスタートし、現在は10名まで増えました。スタート当初からほぼ隔週で打合せや調査活動を行い、会員の有松愛を強く感じました。翌年の2月頃から新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、厳しい環境の下でも苦戦しながら慣れないオンラインでの打合せも行いました。本会の目的は、公的な資料館が無い有松では、各家庭に残っている古い紋や古文書などの貴重な史料が時代の経過と共に消失していくのを防ぎ、後世に繋いでいくことです。本来は各家庭等を訪問調査して何処に何が残っているかを調べる予定でしたが、各家庭を訪問することすら憚られる状況でした。5年にわたる地道な活動の中で、新しい史料の発見に驚き感動を受けることも多くありました。この貴重な史料を折角なら地元の皆様にもご披露しようと思い、有松らしさを感じられる古民家で成果発表会を開催することになりました。

これまでの3回の発表会の主な概要は次のとおりです

開催日時 毎年3月第2週の木～日の4日間、10時～16時

場 所 棚橋家住宅

来場者数 各回とも4日間で約500名

展示内容 有松と日本の歴史年表、有松と世界の繋がり(パリ国際博覧会、日英博覧会の出展記念証)、有松紋りと現代ファッション、懐かしい有松の写真展(有松眺望の今昔、昔の天王坂界限、有松駅の変遷、加藤彦一郎染工場、有松小学校の歩み、有松紋りまつりの歩みなど)、竹田耕三コレクション(古い紋りの浴衣、アフリカ・インド・アジア各国の紋り布、ジュディオング倩玉が竹田嘉兵衛商店を描いた大型木製版画「夏の涼夢」、有松や紋りを描いた浮世絵、紋りに関する書籍など)、嵐紋りの製作に使われた丸太棒、有松紋り中興の祖 鈴木金蔵氏にまつわる史料、有松の旧家に残る所蔵品など

千代倉歴史館

所在地：緑区鳴海町相原町27

千代倉本家の紅葉蔵の南に、東海道に面して建つ千代倉歴史館は、令和4年（2022年）5月に着工して、翌令和5年11月4日にオープンしました。個人で、公的な援助を受けないで、またクラウドファンディングのような支援を受けないで、このような資料館を建設し、維持するということは並大抵の決断ではありません。

これまで「芭蕉と鳴海千代倉家」「千代倉家日記の世界（1）芭蕉忌と千鳥塚」「千代倉家の床の間から夏のしつらい」「千代倉家の歴代当主①（初代〜5代）」「千代倉家の歴代当主②（6代 下郷学海）」「東海道と鳴海宿」の6回の展覧会を催してきました。

「千代倉家は江戸時代より四百年以上にわたるこの鳴海の地に居を構えて現在に至ります。祖は桑名の下里一族で桑名から鳴海に移り住んだ種政、その子久宗が初代です。2代知足は桑名で修行の後に鉄商・新田開発などで千代倉家繁栄の礎を築き、3代蝶羽は分家と共に酒造業に取組み更なる繁栄に努めました。『千代倉』が屋号として使われるようになり蝶羽の代に姓を下里から下郷に改めています。

歴代当主は家業に精励する一方で風流を

愛し俳諧、和歌など文芸の道を嗜み2代知足が松尾芭蕉など、6代学海は池大雅など多くの文化人との関わりが有りました。千代倉家にはこれら文化人に関わる資料や歴代当主の『千代倉家日記』が蔵に大切に残されてきました。この蔵や資料を永く後世に伝えるために『千代倉歴史館』を造りました。

今後調査を進めてその成果を展示したいと考えております。小さな歴史館です。『尺玉の打上げ花火』ではなく庭先で行う珍しい手持ち花火『派手さは無いが興味深い展示館でありたいと思います。』と15代のご当主が述べておられます。（千代倉歴史館パンフレット）

千代倉家には、鳴海宿の伝馬朱印状や東海道を行き来した大名の宿帳など、貴重なものが多く伝わっています。10名で入館制限になるような展示室ですが、たいていは、ボランティアの解説を聞きながらゆっくり見学することが出来ます。年4回の展覧会の、会期中の木曜日から日曜日までの開館ですが、楽しみにしています。

（山本文雄）



街角ウォッチング ②⑦

元旦の朝〜有松天満社〜

令和7年元旦、7時起床。晴れて気持ちの良い穏やかな朝でした。

久し振りに有松の町を散策してみようと思い立ち、10時に家を出て駅へ向かって歩いていくと、何だかいつもより歩いている人が多い。家族づれや2〜3人づれの人たちが刈谷新道から東海道へと歩いて行かれます。天満社の初詣のようです。私も有松の散策第一步を天満社の初詣としました。

踏切を渡るとすぐの鳥居まで人が並んでいます。拝殿から下の鳥居までずらっと行列でビックリしました。一歩ずつ、ゆっくりゆっくり列は進み、やつとお参りを終えたのは、なんと列に並んでから50分後でした。今や住宅地として人気の有松界限はどんどん人口が増えていますから、天満社の初詣の大混雑も当然ですが、列を乱すこともなく皆さん静かに並んでお参りを済ませておられました。

お祓い、おみくじ、書初めの出店もあり、参拝を済ませた人たちが楽しんでおられました。私の引いたおみくじは大吉で「願望は叶う、久しく見ぬ人が来る」でした。今年も穏やかな一年であります様に。

（浅野康子）

町並みの 新しい仲間

◆居酒屋食堂ありまつや

有松まつのね橋の蔵にて、小さな居酒屋食堂を始めました。

カウンター8席テーブル4席。おひとり様でも気軽にご来店いただける家庭的でほっこりした雰囲気居酒屋です。

おすすめメニューは、揚げねぎ焼き、椎茸バター、醤油味の唐揚げ。

お飲み物はビール、日本酒、焼酎、ウイスキー、梅酒などなど。

おにぎり、焼きうどん、赤だしとご飯メニューもご用意します。

日本酒まつりほか期間限定の楽しい企画も開催しております！

みなさまのご来店をお待ちしています♪



住所 名古屋市緑区
有松3309
営業時間 15時から21時
定休日 日曜日と月曜日
インスタ mikiko.kondo

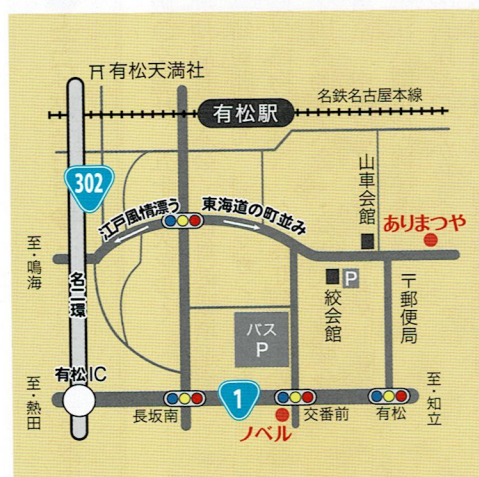
◆ novel(ノベル)

お箸で食べるイタリアンをコンセプトに2025年の1月にオープンした「イタリアンビストロ ノベル」です。

全て手作りにこだわり、丁寧に一品ずつ作り、おり、アラカルトでもコースでも注文できるので、さまざまなシーンでお使いいただけます。

当店イチオシは、オリジナルの麺で作るパスタ料理です。中華麺で使用する「かんすい」を配合したオリジナル麺は、通常の生パスタよりももちもちとした食感が特徴です。また、ソースとの相性も良く、お箸で持ち上げてもソースが麺としっかり絡んでいるため、ソースを余すことなく最後までお楽しみいただけます。

お食事に合うようにワインなどのお酒はもち



ろん、ノンアルコールのドリンクも充実。パティシエが作るドルチェもご用意しております。

グループでの集まりはもちろん、おひとりでも静かにお食事を楽しむのもおすすめです。個室のお席もございますので、大切な方とのお時間にもぴったりです。

地域の皆様に愛される店を目指して、丁寧な料理やサービス、心地よい空間を提供できるよう精進して参りますので、よろしくお願いたします。



住所 名古屋市緑区有松町
有松往還南239-15
営業時間 11時～15時(LO14時)
18時～23時(LO21時30分)
定休日 水曜日
連絡先 052-990-9574
インスタ @novel_arimatsu

第48回全国町並みゼミ

台北にて開催

令和7年10月31日～11月2日(予定)

有松まちづくりの会総会

◆日時 5月16日(金) 13時30分より
◆場所 有松鳴海絞会館

第41回有松絞りまつり

◆6月7日(土)・8日(日)

―テーマ―

「手と手でつなぐ過去から未来へ」

鯉活プロジェクト 有松絞り鯉のぼり展示

4月中旬～5月上旬



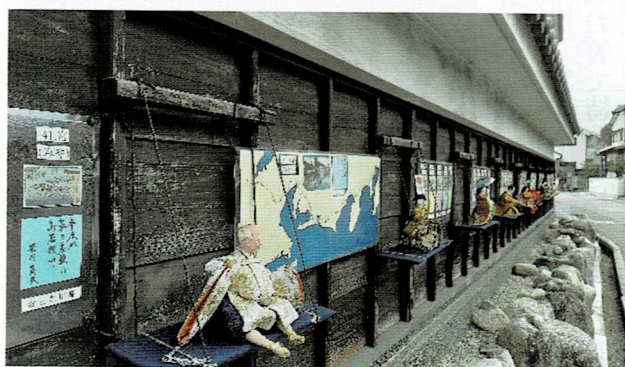
俳句

「春の風」

本曾からの旅の用水水温む
散歩する気分壮快春の風
満開が気になり今朝も花の下

鈴木義光

春のありまつさんぽ道 福よせ雛と町歩き2025



東海道53次のご当地の皆さんから寄せられた「おとな川柳」と共に展示

◆主な来訪者◆ (あないびとの会ご案内分)

- ・阪急交通社 五十三次を歩く
- ・郵便局長夫人会 鶴舞健康増進会
- ・高知新聞観光 ハマカントラベル
- ・遠州織物工業 美浜町商工会女性部
- ・全国高齢者大会 高年大学鯉城会緑
- ・東京 中央区文化財サポーター協会
- ・近江八幡市伝統建造物ツアー
- ・名古屋やつとかめ文化祭
- ・名古屋商科大学・御田中学校・矢田小学校
- ・有松小学校・桶狭間小学校・平子小学校
- ・太子小学校・豊明小学校・日進市立相野山小学校
- ※少人数グループでのご案内を継続しています。

編集後記

2月に中日新聞を読んで「有松未来創造株式会社」って何?と思われた方も多かったのでは。それは、有松の町並みを次世代に繋いでいくための大きな施策。行政の指導の下、賛同された伝統的建造物の持ち主の方と、魅力ある有松の町屋を活用して有松の町屋を、町並みを守っていくためのまちづくりのひとつ(3ページ参照)、とのこと。町並みを大切に思う気持ちで、皆で小さな手立ても色々考え続けていきたいと思います。有松東海道に賑わいを、と取り組んだ「福よせ雛」も10年目の春。学生さんの大胆な発想に、凝った手芸の作り込みに、園児さんの楽しい塗り絵に、訪れる方々ばかりではなく住んでいる皆さんにも、実行委員にも笑顔溢れる企画となったと実感。有松の春を彩るイベントになりました。(加藤明美)

〈有松まちづくり憲章〉

私達は、先人から受け継いだ有松のたからものを守り、次世代に届けるために、この憲章を定めます。

一、有松の町並み・絞り・山車を守り、誇ります。

一、人と人とのつながり、ぬくもりのある有松を創ります。

一、有松の歴史や物語を学び、遊び、伝えます。

有松まちづくりの会

二〇二五年三月三十一日発行

(年一回発行)

〒458-0924

名古屋市長区有松三〇一二(有松商工会内)

TEL (052) 6211-0178

FAX (052) 6221-7401